

進んで活動する姿

続けて最後まで
する姿目的・目標を持って
活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例

小学部

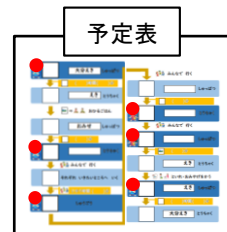
『自分から教具を操作し、長針が文字盤の数字を指す時刻から、20分後までの時刻を読む』

1. 児童の実態と望む姿

- ・小学部5年 男子
- ・口頭に加え、仕方を示したり、表や絵などを提示したりしながら活動の手順を教師が説明すると、説明した通りに行動する。
- ・3時24分や10時57分の模擬時計を提示して時刻を問うと、「20,21,22,23」や「55,56」と、長針が指す時刻の手前にある文字盤の数字から目盛りを数えた後、正しく時刻を答える。
- ・長針が文字盤の数字を指す時刻から15分後や20分後の時刻を問うと、文字盤の数字を指さしながら5とびで数えて正しい時刻を答えるが、その時刻を答えた理由を問うと、文字盤の数字を長針の進行方向の順序で指さし、「ここが5でここが10だから」と答える。
- ・「〇分後は何時何分ですか」の問いに答えるとき、6時15分の8分後を「ろくじはちふん」、1時10分の13分後を「いちじゅうさんぷん」と答えることがある。
- ・4時5分を示す模擬時計を提示し、長針を10分後の4時15分まで進めた後、「4時5分から4時15分まで、長い針は何分動きましたか」と問うと、4時6分の日盛りから一つずつ指さしながら、「6,7,8,⋯,15. 15分」と答える。そこで本題材では以下の望む姿を設定した。
→△時〇分の〇分後の時刻(長針は文字盤の数字以外の目盛りを指す)を読むとき、〇分後の時刻は長針が起点から〇目盛り分進んだときの時刻であることがわかり、目盛りを数えながら模擬時計を操作して、〇分後の時刻を読めるようになってほしい

2. 教材の概要『日本一周旅行ゲーム』

- ・時刻を読む必要性を感じることや、自分の課題に意欲的に取り組むことができるように、時刻を読んで旅行の荷物を集めたり、予定表を作成したりする仕組み。
- ・友だちと互いの課題の取り組みを認め合うことができるように、〇分後や〇分前など、それぞれが担当の時刻を求めると旅行の予定表が完成し、旅行のお土産を手に入れられる仕組み。



3. 授業のポイント

ポイント1

具体的操作を通して、起点から進んだ長針の範囲を視覚的にとらえるための教具の工夫

【起点から進んだ長針の範囲を視覚的に理解し、段階的に念頭操作に移行していくためには、どうすればよいかな？】

- ・起点となる時刻を意識することができるように、自分で起点となる時刻に針を合わせる。
- ・起点から進んだ長針の範囲が視覚的にわかるように、起点から長針を進めると、目盛り付きのカラーシートが出てくるようにした。
- ・段階的に手がかりを減らして、念頭操作へとつながられるように、〈時間みえるくんを使って問題を解く段階→実物の時計の長針を時間みえるくんと同様の操作をして問題を解く段階→実物の時計を見ながら問題を解く段階〉と移行するようにした。



授業構想チェックシート 5. 教具について 内容チェック①②⑤ 意欲チェック⑦⑧⑨

ポイント2

学習内容の理解を深めるための働きかけの工夫

【学習内容を振り返ることができ、深い学びにつなげるための教師のみとめ方はどうすればよいかな？】

- ・学習している内容を確実に理解し、日常生活に生かすことができるように、問題を解いた後に答えを導き出した過程を説明するようにし、教師が児童の説明に沿って教具を操作して答えの導き方を意味づける活動を取り入れた。



授業構想チェックシート 6. 働きかけについて 内容チェック①②⑤